

平成19年度決算

歳入 86億449万円

歳出 84億775万円

平成19年度決算が9月定例町議会で認定されました。決算は、私たちが納めた税金が、私たちの町づくりや暮らしのなかで、どのように活かされてきたのかをまとめたものです。

どんなことに町のお金を使ったのか。おもな事業を紹介します。

健康で安心して暮らせるまちづくり

地域における支え合いを基盤として、一人ひとりに対応できるきめ細やかな健康づくり活動や、少子高齢社会などに対応する福祉活動を支援します。

■民間保育所等委託料	2億6,092万0千円
■児童手当等給付事業	2億3,401万0千円
■こども医療費給付事業	5,239万9千円

住民と行政の協働によるまちづくり

住民が正確な情報を共有し、隣近所で活発な住民活動が展開でき、さらに男女共同参画や住民の交流活動を促進し、簡素で効率的な行財政運営や広域的なまちづくりを進めます。

■コミュニティ施設特別整備事業補助金	584万9千円
■広報等印刷事業	543万2千円
■区運営費補助金	422万4千円

自然と共生した安全で快適なまちづくり

美しい景観づくりや水辺環境の創造を進め、また、防災対策の充実をはじめとし、防犯活動や交通安全などを住民と協働して推進し、環境に配慮した快適な生活の実現を支援します。

■埼玉西部環境保全組合負担金	4億8,734万2千円
■長瀬駅前野久保線整備事業	1億6,123万6千円
■町道維持・新設改良費	1億5,456万5千円

元気に仕事ができるまちづくり

農林業、観光、商工業の振興支援や、住民などが取り組む企業活動を支援します。

■農道・側溝整備等事業	2,699万2千円
■観光事業	734万4千円
■商工会補助金	810万0千円

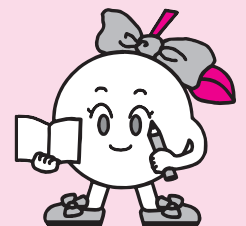
学びを未来に活かすまちづくり

生涯学習の支援や、一人ひとりに応じた教育の充実を図るため、家庭、地域、幼稚園、保育園、小学校、中学校間の連携と、本町ならではの特色ある教育を推進します。

■私立幼稚園就園奨励金	3,429万7千円
■生徒指導・教科指導支援員事業	2,777万6千円
■川角小学校校舎耐震補強工事	7,852万6千円



ゆず子とめじろうの家計簿チェック！



ゆず子：平成19年度の収入はいくらだったの？

めじろう：約86億円だよ。前年度より約7800万円多いね。

ゆず子：おもに、なにが増えたのかしら？

めじろう：一番大きく増えたのが町税で、約4億円増えたんだ。これは、国の三位一体改革によって、所得税の税率が下げられ、町税の税率が引き上げられたことと、定率減税が廃止されたためなんだ。

ゆず子：逆に、地方譲与税が約3億円減っているけど、これは、所得譲与税が平成19年度から廃止になったからなんだ。これも三位一体改革によるものだよ。

ゆず子：ところで、平成19年度の支出はいくらだったの？

めじろう：約84億円だよ。前年度より約1億9000万円多いね。

ゆず子：左上の表で、一番金額が大きい民生費は何に使ったの？

めじろう：町独自の施策として、こども医療費の支給年齢を拡大したよ。また、国の子育て支援で、児童手当の支給要件が緩和されたり、支給額が増えたんだ。それから、共働きの家庭が増えて、子どもを小さいうちから保育所や保育園に預けるようになったので、対応が必要になったんだ。

めじろう：平成19年度の収入はいくらだったの？

ゆず子：約86億円だよ。前年度より約7800万円多いね。

めじろう：おもに、なにが増えたのかしら？

ゆず子：一番大きく増えたのが町税で、約4億円増えたんだ。これは、国の三位一体改革によって、所得税の税率が下げられ、町税の税率が引き上げられたことと、定率減税が廃止されたためなんだ。

めじろう：逆に、地方譲与税が約3億円減っているけど、これは、所得譲与税が平成19年度から廃止になったからなんだ。これも三位一体改革によるものだよ。

ゆず子：ところで、平成19年度の支出はいくらだったの？

めじろう：約84億円だよ。前年度より約1億9000万円多いね。

ゆず子：左上の表で、一番金額が大きい民生費は何に使ったの？

めじろう：町独自の施策として、こども医療費の支給年齢を拡大したよ。また、国の子育て支援で、児童手当の支給要件が緩和されたり、支給額が増えたんだ。それから、共働きの家庭が増えて、子どもを小さいうちから保育所や保育園に預けるようになったので、対応が必要になったんだ。



めじろう：平成19年度の収入はいくらだったの？

ゆず子：約86億円だよ。前年度より約7800万円多いね。

めじろう：おもに、なにが増えたのかしら？

ゆず子：一番大きく増えたのが町税で、約4億円増えたんだ。これは、国の三位一体改革によって、所得税の税率が下げられ、町税の税率が引き上げられたことと、定率減税が廃止されたためなんだ。

めじろう：逆に、地方譲与税が約3億円減っているけど、これは、所得譲与税が平成19年度から廃止になったからなんだ。これも三位一体改革によるものだよ。

ゆず子：ところで、平成19年度の支出はいくらだったの？

めじろう：約84億円だよ。前年度より約1億9000万円多いね。

ゆず子：左上の表で、一番金額が大きい民生費は何に使ったの？

めじろう：町独自の施策として、こども医療費の支給年齢を拡大したよ。また、国の子育て支援で、児童手当の支給要件が緩和されたり、支給額が増えたんだ。それから、共働きの家庭が増えて、子どもを小さいうちから保育所や保育園に預けるようになったので、対応が必要になったんだ。

一般会計

一般会計歳出

(単位 / 千円)

項目	19年度決算	前年度増減額
民生費	23億3,833万4	1億6,111万5
総務費	12億5,799万0	2,268万6
土木費	9億5,708万8	△4,476万5
教育費	9億3,845万2	2,574万2
衛生費	7億6,118万9	1,630万0
公債費	7億5,320万0	△1,192万2
消防費	5億9,255万3	2,973万5
農林水産業費	1億4,239万3	△1,291万3
その他		
・議会費	1億 461万3	△1,019万2
・商工費	3,872万2	△761万8
・労働費	3,003万2	△7
・災害復旧費	0	0
・諸支出金	4億9,318万4	2,117万1
合計	84億 775万0	1億8,933万2

町民1人あたりに使われるお金は
合計22万8,726円です

町立小学校児童1人あたり 101,390円
町立中学校生徒1人あたり 63,106円

民生費 63,612円	教育費 25,530円	消防費 16,120円
総務費 34,223円	衛生費 20,707円	農林水産業費 3,874円
土木費 26,037円	公債費 20,490円	その他 18,133円

平成20年3月31日現在の人口 3万6,759人で算出

一般会計歳入

(単位 / 千円)

	項目	19年度決算	前年度増減額
自主財源	町税	39億5,683万0	3億9,224万4
	繰入金	4億1,052万4	1,493万6
	繰越金	3億 738万5	△794万2
	その他		
	・分担金及び負担金	1億2,822万4	621万4
	・使用料及び手数料	6,590万7	△636万5
	・財産収入	3,074万2	△1億1,929万9
依存財源	・寄付金	273万5	△56万7
	・諸収入	1億1,387万2	2,834万1
	地方交付税	15億 205万7	6,576万6
	町債	5億 520万8	△6,159万2
	国庫支出金	4億7,044万8	7,851万6
	その他		
	・県支出金	4億1,810万7	8,095万2
	・地方消費税交付金	3億1,787万6	△826万8
	・地方譲与税	1億2,300万0	△2億9,564万8
	・地方特例交付金	2,038万0	△7,452万6
	・自動車取得税交付金	9,062万9	△1,437万5
	・ゴルフ場利用税交付金	8,556万6	△560万7
	・利子割交付金	1,826万6	503万9
・株式等譲渡所得割交付金	1,070万9	△224万0	
・配当割交付金	1,915万7	333万8	
・交通安全対策特別交付金	687万0	△22万8	
合計		86億449万2	7,868万9

町民1人あたりの

町税の負担額は **107,642円**

町民税	55,227円
固定資産税	42,027円
町たばこ税	5,535円
都市計画税	3,477円
軽自動車税	1,367円
入湯税	9円
特別土地保有税	0円

※都市計画税とは都市計画事業または土地
区画整理事業の費用に充てるため、市街化
区域内に所在する土地および家屋を所有す
る人に課税されます。平成19年度の都市計
画税の決算額は1億1,900万1千円で、公共
下水道事業などに充てられました。

子育てしやすい環境をつくるこ
とは、とても重要ね。次に、教
育費は何に使ったの？
川角小学校の校舎耐震補強工事
や、泉野小学校の外壁塗装等修
繕工事、毛呂山中学校の校舎耐
震二次診断の委託などがおもな
もので、これから、他の学校も
順次耐震工事を進めていくよ。
耐震補強工事は、これからも計
画的に進んでいくのね。最後に、
土木費は、何に使ったの？
おもに、市場の関越物産前
の道や下川原の星宮神社南側付
近の町道を改修したよ。
大切だと思っことはちゃんと
お金を使っているのね。
今後、よりよいまちづくりを
行うために、効果的なお金の使
い方を考えていかななくてはい
けないね。

特別会計

バランスシートの 用語解説

負債の部

資産を形成するために借り入れた資金などで、将来の世代が負担しなければならないものです。

固定負債 町が借り入れをしている地方債の翌々年度以降の償還予定額です。退職給与引当金は、年度末に全職員が普通退職した場合に支払う退職金の額を負債として計上しています。

流動負債 地方債のうち翌年度の償還予定額です。

正味資産の部

資産と負債の差額で、これまでの世代によりすでに負担されたものです。

国庫支出金・都道府県支出金 国・県から受け入れた資金です。

一般財源等 資産形成のために充てられた地方税などの金額です。

資産の部

これまでの行政活動によって形成された町の経営資源となるものです。

有形固定資産 町役場庁舎や公民館などの建物や付属設備、橋や道路の舗装などの構築物、町の所有している自動車や土地などを行政目的別に表示しています。土地を除き施設の耐用年数に応じて減価償却を行っています。

投資等 土地開発公社や川越総合卸売市場への出資金や、公共施設整備基金などの特定目的基金と土地開発基金などです。退職手当組合積立金は、退職金の支給に備えて町が加入している退職手当組合の資産の持分相当額です。

流動資産 現金・預金のほか現金化することが容易な基金と町税などの未収金です。

町のお金は、前のページで見ていた「一般会計」のほかに、「特別会計」というものがあるんだ。

「一般会計」は、皆の税金を、福祉や建設、教育など、さまざまな目的に使っているけれど、特別会計は、特別な財源を、特定の目的に使ってるんだよ。

わかったわ、たとえば、国民健康保険の場合、保険の加入者が保険料を納めていて、そのお金は、加入者がケガや病気などをしたときに使われるものね。

そう、つまり、それぞれの特別会計で家計簿をつけているようなものなんだ。毛呂山町の特別会計は、国民健康保険、介護保険、老人保健、農業集落排水事業の4つの特別会計と、企業会計の水道事業会計があるよ。じゃあ、会計別に家計簿を見てみよう！

国民健康保険 特別会計

安心して医療を受けることができるように保険制度の維持・運営に使われました。4億437万7千円を平成20年度に繰り越しました。

■歳入 41億3,566万7千円

■歳出 37億3,129万0千円

介護保険 特別会計

介護を必要とする人や、介護予防が必要な人が安心して生活を送るために使われました。4,152万6千円を平成20年度に繰り越しました。

■歳入 13億8,097万9千円

■歳出 13億3,945万3千円

老人保健 特別会計

健康で安心して老後の生活が送れるように、老人保健法による保健給付を行いました。7,949万1千円を平成20年度に繰り越しました。

■歳入 23億2,553万6千円

■歳出 22億4,604万5千円

農業集落排水 事業特別会計

農村地域の生活向上のため、排水処理施設の整備を行いました。現在、主要な事業が終わり、主に維持管理を行っています。310万6千円を平成20年度に繰り越しました。

■歳入 2,745万4千円

■歳出 2,434万8千円

水道事業会計

日常生活に欠かせない生活用水を安定供給するために使われました。

■水道事業収益（水道料金など） 8億8,024万7千円

■水道事業費用（水道施設維持管理、県水受水費など） 7億7,830万2千円
消費税分を差し引いた8,728万4千円の純利益となりました。

■資本的収入（国庫補助金など） 1,879万2千円

■資本的支出（建設改良費など） 3億8,582万7千円

3億6,703万5千円の不足は、当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額と過年度損益勘定留保資金、減債積立金で補てんされました。